# 東中だより

No. ０６　令和８年　９月３０日（水）余市町立東中学校　発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標
- ○自律…自ら考え判断し行動する
- ○尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- ○創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

## 「もしも…」に備えて

校長　明　村　秀　之

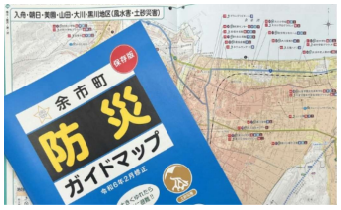
気がつけば、校舎裏山の木々も色づき始め、秋を感じさせる景色となりました。実りの秋ですので、山と海それぞれの旬の食材が楽しみで仕方がありません。我が家では特に「新米」「新じゃが」を毎年楽しみにしております。

さて、この一ヶ月、余市町の天気は比較的穏やかでしたが、本州では台風や線状降水帯の影響で災害が続き、被害家屋や氾濫した川の状況を目にし、心が痛くなりました。被災地域の皆様の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

先日は札幌市においても、「レベル４大雨危険警報」が発表され、住居地域の近くにある川の氾濫寸前の様子や冠水した道路の映像がテレビに映し出されていました。

余市町には余市川を筆頭に、ヌッチ川、登川、旧登川などが住宅街のそばにあり、想定以上の降水による洪水が起こる可能性はゼロではありません。

９月２日（水）に本校では「１日防災教室」を開催し、余市町役場総務課防災係の方々を講師に迎え、防災マップの見方や使い方を含め、避難経路を考えたり（１年）、避難所運営ゲーム「ＨＵＧ」を行ったり（２年）、避難所設営を体験したり（３年）などの学習を行いました。避難所設営は、簡易トイレ、段ボールベッド、プライベートゾーンを確保するテントの組み立てなどを行いました。子どもたちからは「これなら私たちでも（避難所運営の）力になれる。」「思ったよりも力のいる作業だから、高齢者の方だけでは組み立てが難しいと思う。僕たちも手伝った方がいい。」という声が多く聞かれました。




今回の学習で防災への関心を高めるとともに、中学生であっても自分たちにできることがあること、地域の力になれることを理解し自覚する良い機会となりました。

各世帯に全町配付されている余市町防災マップは、災害応じた想定被害や避難場所が示されています。「もしも…」に備えて、ご家庭で確認されますことをお勧めいたします。

話は変わりますが…

この学校だよりを作成している時は、東中祭準備の真っ最中です。本番に向けた仕上げの時期となっています。

朝８時１５分からは「合唱」の練習時間となっており、子どもたちの歌声が校舎内に響いています。２階で活動している３年生の声が一番校長室に響いてくるのですが、昨年度よりも上達しているように感じます。２年生の歌声も３階へとつながる階段から響いてくるのですが、朝から胸がじーんとくる気持ちになります。

午後からは、作品の制作やステージ発表など、それぞれの取組を行っています。例年、見応えのある芸術作品がありますので楽しみです。

ステージ発表の練習も進んでいます。「お笑い」「歌」「踊り」と見ている人を楽しませてくれること間違いなしと期待しているところです。１０月２日（金）に開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

